



捕れた魚は三都橋地区の皆さんのお土産となりました

7月20日 海を眺めて語らい いい気分

六連校区と設楽町三都橋地区の交流会が浜田海岸で開催されました。この日は三都橋から約30名が訪れ、六連校区の皆さんと地引き網やパーベキューを楽しみました。今年は、浜風が運んでできた砂山を利用してサンドスキーにも挑戦し、親睦を深めながら夏の一日を満喫しました。

この交流は、豊川水源地と受益地の心と心のふれあい、相互理解を深めて今年で7年目。去年は六連校区の皆さんが設楽町を訪問しています。



熱い踊りにステージと観客が一体となりました

7月26日 このエネルギー 夜空を焦がせ

第15回あかばね納涼祭が赤羽根文化広場で開かれ、大勢の人でにぎわいました。

会場に設けられた特設ステージでは、ちびっこに人気のアバレンジャーのショーや歌謡ショー、町民による踊りが次々と披露され、詰めかけた人々の歓声を集めていました。また、今回が赤羽根町として最後の納涼祭ということもあり、町の足跡を振り返るビデオの上映や、盛大な花火でフィナーレを演出していました。



子どもたちに見送られた子ガメは元気に海へ帰っていきました

8月2日 ウミガメさん 大きく育てね

道路や海岸のごみを拾いながらチェックポイントを通過するエコ・オリエンテーリングが、あかばね塾の主催で開催されました。

オリエンテーリングには、親子連れなど約100人が参加。暑い日差しの下、約6km・10カ所のチェックポイントを巡って、赤羽根地域の美化を行いました。また終了後には、名古屋港水族館でふ化した子ガメの放流会が太平洋ロングビーチで行われました。



がんばって作ったアイスクリームは友情の味がしたかな？

7月29日 山っ子のみんな また会おうね！

姉妹都市津具村の津具小学校児童30名が田原を訪れ、野田小学校児童108名とサンテパルクで交歓会を行いました。この交流は、子どもたちが人間関係を深めながらお互いの生活環境を知ることがを目的に昭和58年から実施されています。

今年は、開会式で児童みんなの合唱がこだましたほか、2人1組でアイスクリーム作りに挑戦したり、野田小児童の企画によるドッチビーを楽しんだりして、親睦を深めました。